

プログラム

開会全体集会 (14日 13:00-16:40、会場：A21)

開会の挨拶：第19会総合学術研究集会実行委員長 稲垣賢二
 開催校歓迎の挨拶：岡山大学理事・副学長 阿部宏史

基調講演 (14日 13:20-14:30、会場：A21)

池内 了：持続可能な社会への変革とともに (座長：稲垣賢二)

特別講演 (14日 14:40-16:40、会場：A21)

- 特別講演 1 安齋育郎：原発破局への道 (座長：青山 勲)
 ー翼賛体制を構成した7つの要因と変革への道ー
- 特別講演 2 室崎益輝：安全・安心な社会の構築のために (座長：小畑隆資)
 ー防災に何が必要かー

交流会

- 市民団体との交流会 (14日 18:00-20:00、会場：A21)
 女性研究者交流会 (14日 18:00-20:00、会場：C24)
 JSA 若手「夏の学校」2012 開校式 (14日 16:40-17:30、会場：C25)

マスターズレクチャー (15日 9:00-9:50)

- 川崎 健：JSA と私の研究ー半世紀を振り返ってー (会場：A36)
 北村 実：JSA は学問の伴侶 (会場：A37)
 小森田精子：JSA 会員の協力で作り上げた講義 (会場：C24)
 本間 慎：JSA に育てられて (会場：C22)

ヤングサイエンティストレクチャー (15日 14:00-14:25)

- 大城 尚子：「安全保障」と植民地主義 (会場：A37)
 小倉将志郎：現代資本主義と「金融化」アプローチ (会場：B21)
 衣笠 哲也：レスキュー活動支援等のための
 移動ロボット技術について (会場：A35)
 佐川 清隆：太陽光発電・風力発電の出力変動への対応 (会場：B24)
 鈴木 忠義：「貧困ビジネス」の現状と課題 (会場：C31)
 田口 直樹：技術論から見た日本の製造技術 (会場：A32)

- | | | |
|-------|---|------------|
| 田村 隆 | : 微量必須元素セレンと私たちの健康 | (会場 : C22) |
| 長島 雅裕 | : 銀河の成り立ちを探る | (会場 : C25) |
| 長谷川千春 | : アメリカと日本の「無保険」問題 | (会場 : C24) |
| 浜田 盛久 | : 無水鉍物中の微量の水から島弧マグマ中の
水の量と挙動を読む新しい試み | (会場 : A34) |
| 牧 良明 | : 日立における自動車部品事業 | (会場 : C32) |

閉会全体集会 (16日 12:00-13:00、会場 : A21)

19 総学アピール (伊藤宏之)

特別セッション

[S] 19 総学特別セッション「東日本大震災—復旧・復興への提言」(会場 : A36)

15 (土) 10:00-13:00、14:30-17:30

コーディネーター : 伊藤宏之 (東日本大震災問題特別研究委員会)

午前 10:00-13:00

分科会 I 大震災復旧・復興の現段階での諸問題

- 1 刈田啓史郎 : 東北メディカル・メガバンクと被災地医療
- 2 井上大樹 : 北海道における復興支援・原発への市民活動の現状と
住民の被災地への「まなざし」
- 3 岡山 博 : 自由に物を言えない抑圧社会
—原発事故と損害を拡大している真の原因—

午後 14:30-17:30

分科会 II 大震災復旧・復興の国民運動構築

- 1 伊東達也 : 復旧・復興運動の課題
- 2 山本富士夫 : 大飯原発再稼働の問題
- 3 綱島不二雄 : 被災者の権利無視の復旧・復興戦略の構図—宮城県を中心に—

特別分科会

【L 特別分科会】

[L-1] 古代吉備の環境と歴史 (会場 : C22)

15 (土) 10:00-13:00

コーディネーター : 今津勝紀 (岡山支部)

- 1 10:00-10:45 松木武彦 : 巨大古墳からみた古代吉備の成立
- 2 10:45-11:30 高橋明裕 : 古代のミヤケの立地と瀬戸内海
- 3 11:30-12:15 今津勝紀 : 古代吉備の氏族と伝承
- 4 12:15-13:00 総合討論 : 古代吉備の環境と社会

[L-2] 「国連 ESD の 10 年最終年會合」に向けて

－国内外の ESD の現状と課題そして将来－（会場：B21）

15（土）10:00-13:00

コーディネーター：望月太郎（大阪支部）、青山勲（岡山支部）

- 1 青山 勲：ESD（持続可能な発展のための教育）
リオ+20 まで、そして 2014 年 ESD の 10 年最終年會合へ
- 2 阿部宏史：岡山大学における ESD 取り組みについて
- 3 末本 誠：高等教育における ESD の課題－神戸大学の取り組みから－

分科会

【A 憲法・平和・思想】

[A-1] 平和・安全保障問題－核不拡散条約体制から核兵器全面禁止体制へ－（会場：A37）

15（土）10:00-13:00、14:30-17:30

コーディネーター：亀山統一、沢田昭二（平和問題研究委員会）

午前の部 憲法問題、核兵器廃絶と国際平和問題

- 1 10:00-10:40 金子 勝：原子力発電と日本国憲法－原子力発電の違憲性－
- 2 10:40-11:20 赤井純治：ポスト 3.11、提起されている脱原発と
核廃絶・科学・大学平和教育の課題：実践的立場から
- 3 11:20-12:00 沢田昭二：核兵器廃絶の現情勢と今後の展望
- 4 12:00-13:00 総合討論

午後の部 安保問題および基地問題

- 1 14:30-15:30 浜田 盛久、多羅尾 光徳：
宇宙へのロマンは平和であってこそ：JAXA 法改悪の問題点
- 2 15:30-16:00 阿部一雅：日本平和大会の成功をめざして
- 3 16:00-17:00 亀山統一：日米同盟再編路線の変容と在日米軍・自衛隊
- 4 17:00-17:30 総合討論

[A-2] 生命倫理の今日的課題（会場：C22）

16（日）9:00-12:00

コーディネーター：宗川吉汪（生命と医の倫理研究委員会）

- 1 9:00-9:45 宗川吉汪：「人体の不思議展」が問いかけた生命倫理の課題
- 2 9:45-10:30 末永恵子：プラスチック人体標本の商業展示に対する
各国の規制状況－独・仏・米を中心に
- 3 10:30-11:15 黒須三恵：「死」をめぐる医学倫理教育
- 4 11:15-12:00 総合討論 死者の尊厳と生命倫理

[A-3] 21 世紀社会像の展開（会場：C25）

16（日）9:00-12:00

コーディネーター：松川康夫（21 世紀社会論研究委員会）

- 1 9:00-9:05 開会
- 2 9:05-9:20 北村 実：平和・公正・平等の世界秩序の確立を目指して
- 3 9:20-9:35 塩谷 光：21世紀の技術のあり方
- 4 9:35-9:50 松川康夫：21世紀社会の設計（補論）
- 5 9:50-10:05 牧野広義：『平和・公正・平等の世界秩序の確立をめざして』の検討
- 6 10:05-10:20 本間 慎：農林分野からのコメント
- 7 10:20-11:35 国村 勝：日本の選挙制度の問題点（外国選挙法と比較して）
- 8 10:35-10:50 川崎 健：科学からの発信とそれを受け止められない政治
- 9 10:50-11:05 鶴田満彦：21世紀における経済システムの変革
- 10 11:05-12:00 質疑・討論

[A-4] 「フクシマ」を通して近・現代の意味を問い直す（会場：B31）

15（土）14:30-17:30

コーディネーター：碓井敏正（思想・文化研究委員会）

- 1 14:30-14:50 島崎 隆：近代合理主義の人間・自然観と3.11問題
- 2 15:10-15:30 北村 浩：現代日本における近代/市民社会をめぐる問題状況
- 3 15:30-15:50 望月太郎：「市民」概念の変容
- 4 16:00-16:20 池田成一：「日本」の「近代」をどうみるかー「フクシマ」以前と以後ー
- 5 16:20-16:40 上野 哲：3.11以降サイエンスカフェは「科学・技術を議論する場」になりえたか？
- 6 16:40-17:30 総合討論

[A-5] 憲法改正構想の憲法学的・政治学的検討（会場：C24）

16（日）9:00-12:00

コーディネーター：小畑隆資（岡山支部）

- 1 9:00-9:30 小畑隆資：国家改造計画の現段階
ー民主党政権と橋下・大阪維新の会ー
- 2 9:30-10:00 村上 博：地方分権改革と大阪都構想・道州制構想
- 3 10:00-10:30 中島茂樹：新自由主義的国家再編と地方教育行政
- 4 10:30-11:00 中富公一：教育委員会の憲法的地位と自治体による教育制度改革
- 5 11:00-12:00 総合討論（司会：竹内俊子）

【B 経済・医療・暮らし】

[B-1] 人間存在と「パーソン論」

ー重度障害者・認知症者など「生きているのがわいそう」なのかー（会場：B31）

15（土）10:00-13:00

コーディネーター：渡部昭男（兵庫支部）

- 1 10:00-10:05 趣旨説明
- 2 10:05-10:35 高谷 清：重症児者医療の立場から
- 3 10:35-11:05 碓井敏正：規範哲学の立場から

- 4 11:05-11:35 白石正久：発達障害論の立場から
- 5 11:45-13:00 総合討論

[B-2] 地域社会・経済と地方自治の今日的課題と創造的展望（会場：C32）

15（土）14:30-17:30、16（日）9:00-12:00

コーディネーター：保母武彦（地方自治・地域問題研究委員会）

15（土）14:30-17:30

- 1 14:30-15:00 小山良太：福島県農業における放射能汚染問題と「風評」被害の構造
- 2 15:00-15:30 大石真紀子：安心して暮らしけられる村をめざしてー長野県・阿智村ー
- 3 15:30-16:00 入谷貴夫：産業連関分析からみた地域経済の内発的発展の可能性
- 4 16:00-16:30 飯田克平：原子力災害と再生への過程
- 5 16:30-17:30 総合討論

16（日）9:00-12:00

- 1 9:00-9:30 藤田安一：鳥取市庁舎の新築・移転をめぐる住民投票
ーその特徴と意義ー
- 2 9:30-10:00 保母武彦：小規模自治体の先進的取り組みー北海道・下川町ー
- 3 10:00-10:30 関 耕平：小規模自治体の先進的取り組みー島根県・海士町ー
- 4 10:30-11:00 森 裕之：大都市をめぐる統治機構改革ー大阪・関西の動きを中心にー
- 5 11:00-12:00 総合討論

[B-3+B-5] 保健・医療・福祉の現代的課題と対策（会場：C22）

15（土）14:30-17:30

コーディネーター：片平冽彦、榎 宏朗

- 1 14:30-14:40 開会挨拶 司会者
- 2 14:40-15:05 刈田啓史郎：いま医学界に望むこと
- 3 15:05-15:30 吉中文志：医療倫理の現代的課題
- 4 15:40-16:05 和気正芳：ジフテリア禍事件と予防接種の功罪
- 5 16:05-16:35 清水英喜：イレッサ副作用被害からの生還
- 6 16:35-17:00 永井弘二：薬害イレッサで何が起きているか
- 7 17:00-17:25 追加質疑、総合討論
- 8 17:25-17:30 閉会挨拶 司会者

[B-4] 放射線の人体影響（会場：A37）

16（日）9:00-12:00

コーディネーター：沢田昭二（愛知支部）

- 1 9:00-9:35 後藤隆雄：福島第一原発事故後に排出された¹³³Xeについての考察
- 2 9:35-10:10 林 弘文：放射線被曝についての誤解
- 3 10:10-10:45 沢田昭二：放射線影響研究所が見逃した被曝影響と国際放射線防護体制
- 4 10:45-11:20 高岡 滋：福島第一原発事故による放射線の健康影響評価の展望
- 5 11:20-12:00 総合討論 内部被曝影響はどこまで解明されているか

[B-6] グローバル企業に依存しない日本経済を実現するために（会場：C31）

15（土）10:00-13:00、14:30-17:30

コーディネーター：工藤昌宏（東京支部）、米田貢（東京支部）

- 1 10:00-10:10 工藤昌宏：日本経済の再建を雇用と地域の視点から考える
- 2 10:10-10:45 藤田 実：2000年代における産業構造の転換とモノづくり環境の変化
- 3 10:45-11:20 知見邦彦：大月市の地域おこしとネットワークづくり
- 4 11:20-11:55 山口 伸：農村労働組合とは何か、どのような活動をしているのか！
- 5 11:55-13:00 総合討論

- 1 14:30-14:40 野中郁江：ファンド規制と労働組合という問題意識について
- 2 14:40-15:20 鳥畑与一：「略奪的」ファンド規制をめぐる国内外の動向について
- 3 15:20-16:10 田村八十一：経済のグローバル化と日本経済
ファンドによる企業支配が企業経営および労働者に与える影響—事例報告
- 4 16:20-17:00 野中郁江：昭和ゴム事件にみるファンドの横暴と金融・企業政策の課題
- 5 17:00-17:30 総合討論

【C 公害・環境・エネルギー・災害問題】

[C-1] 食と農の政策科学—震災後の食と農を考える—（会場：B21）

15（土）14:30-17:30

コーディネーター：西村一郎（食糧問題研究委員会）

- 1 14:30-15:00 宇野忠義：迫り来る食糧・農業危機
- 2 15:00-15:30 西村一郎：震災が問う食糧生産・被災者の食と健康
- 3 15:30-16:00 谷口憲治：地域資源循環活用による食料自給体制づくり
- 4 16:00-16:30 片山知史：水産物の放射能汚染と風評被害
- 5 16:40-17:30 総合討論

[C-2] 福島原発事故と原子力行政（会場：C24）

15（土）14:30-17:30

コーディネーター：野口邦和（エネルギー・原子力問題委員会）

- 1 14:30-14:50 青柳長紀：苛酷事故防止と原子力防災の課題
- 2 14:50-15:10 児玉一八：志賀原発の「津波対策」「ストレステスト」の問題点
- 3 15:10-15:30 林 弘文：浜岡原発の経験、福島第一原発事故に対する政府の対応
- 4 15:30-15:50 直江俊一：震災から考える原子力関係法の問題点
- 5 16:00-16:20 宮永崇史：青森県の原子力施設の現状と市民運動の広がり
- 6 16:20-16:40 青柳長紀：福島第一原発事故後のエネルギー・原子力政策の課題
- 7 16:40-17:00 吉村高男：原子力の本質—宇宙でこそ原子力の平和利用を！—
- 8 17:00-17:30 総合討論

[C-3] 予防原則・リスク論を考える（会場：A34）

15（土）10:00-13:00

コーディネーター：西川榮一、小野塚春吉、森家章雄（公害環境問題委員会）

- 1 10:00-10:15 近藤 真：予防原則・リスク論と環境権の再定義
- 2 10:15-10:30 西川榮一：予防原則からみた環境アセスメントの現状と課題
- 3 10:30-10:45 森家章雄・西川祥子：予防原則を踏まえた環境基準・安全基準に向けて
- 4 10:45-11:00 本間圭吾：決定形成における予防原則の確立
- 5 11:15-11:30 長野 晃：寝屋川廃プラ公害を予防原則から考える
- 6 11:30-11:45 山口英昌：予防原則と食の安全
－ EU 食品安全法に見る予防原則と日本の現状－
- 7 11:45-12:00 佐藤克春：不確実性・予防原則・対抗的リスクコミュニケーション
－放射性物質による土壌汚染を念頭に－
- 8 12:00-12:15 小野塚春吉：不確かなものへの対応－放射線の確率的影響における被ばく線量限度の設定根拠と化学物質における VSD（実質安全量）についての考察－
- 9 12:15-13:00 総合討論

[C-4] 大震災に学ぶこれからの防災の課題（会場：A31）

16（日）9:00-12:00

コーディネーター：坂巻幸雄（災害問題研究委員会）

- 1 9:00-9:20 井口克郎：防災としての社会保障制度
－キューバ共和国における防災・医療体制調査から－
- 2 9:20-9:40 前田定孝：災害時に自治体を機能させる
実効ある業務継続計画（BCP）の考え方
- 3 9:40-10:00 奥西一夫：防潮堤の嵩上げと津波のハザードおよび震災復興計画
- 4 10:00-10:20 上野鉄男：陸前高田市の震災復興計画について
- 5 10:20-10:40 志岐常正：災害の“想定外”盲点
－若狭湾岸の原発津波防災問題の例－
- 6 10:40-11:00 小林芳正：放射性廃棄物をめぐる諸問題
- 7 11:00-11:20 坂巻幸雄：3.11 の実体験から見た首都直下地震対策の課題
- 8 11:20-11:40 中山俊雄：首都直下地震の被害想定の見直しと課題
- 9 11:40-12:00 総合討論

[C-5] 自然エネルギーの普及に向けた戦略（会場：B24）

15（土）10:00-13:00、14:30-17:30

コーディネーター：上園昌武（島根支部）、岩本智之（中長期気候目標研究委員会）

Part 1 「自然エネルギー普及の障壁を打ち破る」

- 1 10:00-10:10 開会の挨拶、趣旨説明
- 2 10:10-10:40 歌川 学：エネルギー政策と気候変動政策の課題
- 3 10:40-10:55 草野清信：脱原発社会への道
- 4 10:55-11:10 菊山功嗣・董 海賓：太陽光発電による年間の発電量予測
- 5 11:10-11:25 青野雄太：自然エネルギー社会における自動車について

6 11:25-11:40 石綿 勇：自然エネルギー普及のための電力網、
スマートグリッドについて考える

7 11:55-13:00 総合討論

14:00-14:30 ヤングサイエンティストレクチャー

佐川清隆：太陽光発電・風力発電の出力変動への対応

Part 2「先進事例から学ぶ」

1 14:30-14:40 趣旨説明

2 14:40-15:10 上園昌武：自然エネルギー普及政策の現状と課題

3 15:10-15:30 阿部博光：地域社会における地熱開発の現状と課題

4 15:30-15:50 岩田 裕：四国地方の自然エネルギーの開発・普及状況

5 15:50-16:10 立石雅昭：新潟の自然エネルギーの取組と課題

6 16:25-17:30 総合討論

[C-6] 瀬戸内の地域環境再生（第32回瀬戸内シンポジウム）（会場：A32）

16（日）9:00-12:00

コーディネーター：磯部 作（瀬戸内委員会）

1 9:00-9:10 磯部 作：コーディネーター解題 瀬戸内における地域環境再生の現状と課題

2 9:10-9:30 林 美帆：科学者と住民の協働－西淀川大気汚染公害裁判と地域再生－

3 9:30-9:50 小沢秀造：尼崎の大気汚染改善のための弁護士と専門家の協力

4 9:50-10:10 栗屋かよ子：四日市における環境再生の課題－公害の真の克服を求めて－

5 10:10-10:30 中恵真理子：ヒアリング・ヴォイシズ運動と佐藤和喜雄
－岡山県精神医療改革における足跡－

6 10:30-10:50 塩飽敏史：瀬戸内海における海ゴミ問題の現状と課題

7 11:00-11:50 総合討論

8 11:50-12:00 まとめと瀬戸内アピールの採択

【D 科学・技術・教育・社会】

[D-1] 宇宙、物質、生命、人間と社会の動的構造と発展

（第2回複雑系科学シンポジウム）（会場：C25）

15（土）10:00-13:00、14:30-17:30

コーディネーター：長野八久（複雑系科学研究委員会）

1 中山 悠・長野八久：高密度飼育によるカエル体重の不均化

2 前田耕治：神経伝達モデルとしての液膜電位振動系－伝播と同期の機構－

3 尼川大作：集団意思決定行動における人類とミツバチの共通項

（ダンス・ディベイトの検討から）

4 長野八久：社会変革実験としてのサイエンスカフェ運動

5 嶋田一郎：複雑系「臨界」モデルの可能性－地震、紛争、社会変革への適用の試み

6 白井浩子：存在と認識の階層的発展

7 高村直也・嶋田一郎：複雑系社会変革方程式の発見

8 追加発表および討論

[D-2] 女性研究者・技術者のこれまでと今、そしてこれから (会場：C24)

15 (土) 10:00-13:00

コーディネーター：沢山美果子 (女性研究者技術者委員会)

- 1 10:00-10:40 森岡孝二：労働時間の性別二重構造と女性研究者
- 2 10:40-11:05 松本直子：大学でのジェンダー教育から見えてくる傾向と課題
- 3 11:05-11:30 宮崎祐子：若手研究者の研究環境
- 4 11:30-11:55 朴木佳緒留：女性研究者のキャリア形成
- 5 12:10-13:00 総合討論

[D-3] 科学・技術の現状批判

－日本の科学・技術の健全な発展のための課題 part5－ (会場：A32)

15 (土) 10:00-13:00

コーディネーター：長田好弘 (東京支部)、久志本俊弘 (大阪支部)、酒井士朗 (東京支部)

- 1 10:00-10:20 長田好弘：オープニングトーク

－民間委員会の今後の活動を展望する－

- 2 10:20-10:40 衣川清子：権利侵害 110 番委員会の活動強化に向けて
- 3 10:40-11:00 久志本俊弘：企業の中の技術者・研究者の最近の現場からの報告
－とくに若手の技術者の育成とその権利強化のために その2－
- 4 11:00-11:20 山本謙治：社会起業／社会イノベーションシステムの可能性考察
- 5 11:30-11:50 下間一成、矢作英夫：NTTにおける高齢者雇用を口実にした
不当な賃下げのたくらみ
- 6 11:50-12:10 後藤隆雄：最新鋭ゴミ処理場計画や下水処理場計画に何が、
循環型社会に逆行
- 7 12:10-12:30 矢作英夫、酒井士朗、佐藤 豊：
大規模災害における通信確保について
- 8 12:30-12:50 酒井士朗、矢作英夫：インターネットと携帯電話・スマートフォン
－安心・安全なネット社会のための課題を考える－

[D-4] 科学・技術サロン－日本の科学・技術の現状とロマンを語る part5－ (会場：A32)

15 (土) 14:30-17:30

コーディネーター：長田好弘、榊原道夫、松永光司 (東京支部)

- 1 14:30-14:50 長田好弘：自主技術開発と対米従属下での JAXA 法改悪の意図
- 2 14:50-15:10 小金澤鋼一：原発震災で何が起きたのか
- 3 15:10-15:30 池上幸江：『放射能汚染と食の安全』の講演を通して見えたもの
- 4 15:30-15:50 榊原道夫：あぶない リニア中央新幹線
- 5 16:00-16:20 上野 哲：サイエンスカフェの現状と課題
－科学技術倫理に関する話題はなぜサイエンスカフェではとりあげられないのか－
- 6 16:20-16:40 増澤誠一：知的財産立国とは何だったのか
- 7 16:40-17:00 野村康秀：持続可能な社会と知的財産

- 8 17:00-17:20 松永光司、長田好弘：TPP・政府調達が日本の研究開発にもたらす害悪
－ NTT 国際調達の歴史をふまえて－

[D-5] 3.11 後の社会運動と大学院生（会場：A34）

15（土）14:30-17:30

コーディネーター：大月英雄（若手研究者問題委員会）

- 1 14:30-14:40 趣旨説明
- 2 14:40-15:00 報告1…関東の事例から
- 3 15:00-15:20 杉浦由香里：動き出した若者たち－ 3.11 後の世界でみえてきたもの－
- 4 15:20-15:40 大月功雄：3.11 後の学生・院生の社会運動
－ 「原発ゼロアクション in KYOTO」を事例に－
- 5 15:55-16:30 地域別討論
- 6 16:30-17:20 全体討論
- 7 17:20-17:30 まとめ

[D-6] 真の科学・技術、学術政策を求めて－第4期科学技術基本計画策定後の「科学技術イノベーション」政策の展開－（会場：A34）

16（日）9:00-12:00

コーディネーター：兵藤友博（科学・技術政策委員会）

- 1 9:00-9:35 兵藤友博：「科学技術イノベーション政策」の現段階
－学術、科学・技術政策のあり方を考える－
- 2 9:35-10:10 野村康秀：第4期科学技術基本計画と科学技術政策体系の変化
- 3 10:10-10:45 齋藤安史：第4期科学技術基本計画と高等教育政策
- 4 10:45-11:20 初山高仁：東日本大震災と科学技術政策
- 5 11:20-12:00 総合討論

[D-7] 今、改めて科学・技術教育を考える（会場：A31）

15（土）10:00-13:00

コーディネーター：高原周一（岡山支部）

- 1 10:00-10:45 川勝 博：福島原発事故以後の科学リテラシー教育を考える
- 2 10:45-11:10 津田敏秀：科学の営みと医学研究の現状（医学と仮説）
（休憩10分）
- 3 11:20-11:45 長島雅裕：教員養成課程における疑似科学を活用した
科学リテラシー教育の試み
- 4 11:45-12:00 三上周二：小学校で原発をどう教えるか
－フクシマがヒロシマになった－
- 5 12:00-12:15 植田一夫：総合学習《フクシマとヒロシマ》
－子どもたちと考えたこの国の未来像－
- 6 12:15-12:30 林 節男：被害住民と科学者および資本・労働者による
新しい科学・技術教育

－公害防止協定による神岡鉱山立入調査 40 年に学ぶ－

- 7 12:30-12:45 高原周一：大学における科学ボランティア活動と
科学リテラシー教育の結合の試み
- 8 12:45-13:00 総合討論

[D-8] 研究者の権利・地位、倫理の確立のために（会場：A31）

15（土）14:30-17:30

コーディネーター：丹生淳郷（科学者の権利問題委員会）

- 1 14:30-15:00 高木秀雄：研究者の権利・地位宣言、倫理綱領制定活動の
経過と現状打開の必要性
- 2 15:00-15:30 丹生淳郷：「研究者の権利・地位、倫理」報告文書を
JSA 運動に活かすために
- 3 15:30-16:00 竹森 信：科学者・研究者・技術者に求められる倫理の理念と実際
- 4 16:00-16:30 菊地重秋：日本科学者会議も倫理綱領の制定等に取り組みましょう
- 5 16:40-17:00 湯浅委員長のコメント
- 6 17:00-17:30 総合討論

[D-9-1] 大学・試験研究機関の現状と課題

大学・国公研の「法人化」がもたらしたもの（会場：A35）

15（土）10:00-13:00

コーディネーター：小滝豊美（国公立試験研究機関問題委）

- 1 10:00-10:35 小滝豊美：「改革」の連続で国立研究機関はどこへ行くのか
- 2 10:35-11:10 山口和孝：国立大学法人化がもたらしたものと大学政策の方向
- 3 11:10-11:45 森 利明：大阪府立大学をめぐる最近の大学改革の現状
- 4 11:55-12:30 岩橋昭廣：私立大学の現状と課題
－大阪・岡山地域の私大教連運動を中心に－
- 5 12:30-13:00 総合討論

[D-9-2] 大学・試験研究機関の現状と課題 大学改革をめぐる現状と課題（会場：A35）

15（土）14:30-17:30

コーディネーター：細井克彦（大学問題委員会）

- 1 14:30-15:05 細井克彦：民主党政権下の大学改革政策の動向
- 2 15:05-15:40 齋藤安史：（科学技術関係）人財育成と大学改革
- 3 15:50-16:25 今井証三：高等教育の漸進的無償化は世界の流れ
- 4 16:25-17:00 江尻 彰：大学非常勤講師の労働・生活実態と組合運動
- 5 17:00-17:30 総合討論